

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 11月 17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2270600576
法人名	社会福祉法人 栄幸会
事業所名	きたうえファミリーアネックス
所在地 (電話番号)	三島市徳倉1148-2 (055-980-5078)

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年10月29日

## 【情報提供票より】(平成20年10月8日事業所記入)

開設年月日	平成 18年 3月 16日
ユニット数	1 ユニット
職員数	8 人
利用定員数計	9 人
常勤	7 人
非常勤	1 人
常勤換算	7.98

## (2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	軽量鉄骨	造り
	1階建て0.1階部分	

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 195,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

## (4)利用者の概要(平成20年10月8日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低	72 歳	最高	98 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	別所医院・芹沢医院・東海病院・田村歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

三島市郊外に特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・グループホームなどが併設された運営法人栄幸会による組織的な支援体制が整えられたホームである。管理者の「その人らしい生活実現」の思いと職員の連携で、利用者の自由が尊重され穏やかに過ごしていることが窺えるホームである。自己評価の全員での取り組み、介護計画・見直し・モニタリングの仕組み、終末期対応アンケート・嘱託医との連携などの体制が整えられている。今後の更なる取り組みとして、地域との協力関係作りの促進、自己評価を職員のレベルアップの為の研修や、ホーム課題の改善に向けた目標設定に繋げることが期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価受審後、毎月の全体会議にて全職員で話し合い、災害対策の地域との協力関係作りを除き改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価表を全職員に配布し内容の共有化を図り、管理者が取りまとめ、日々のケア改善に向けた取り組みを行っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1度定期的開催され、ホームの状況報告や行事予定、ホーム課題などの話し合いが持たれ、利用者の帰宅願望への対応策としてホーム入り口近くにバス停を設置するアイデアが実現するなどの取り組みが行われている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	重要事項説明書に意見や苦情を受ける窓口が明記され、苦情委員会も設けられている。面会時や電話連絡、運営推進会議などで家族の意見・要望を聞き毎月の会議などで検討・対応を行っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩時に地域の人々への挨拶や声掛けを行い、近隣の保育園の七夕まつりや敬老会での園児との交流、中学生の福祉体験受け入れなど地域とのつきあいは活発に行われているが、地域自治会への参加には至っていない。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりを尊重した介護」の基本方針と人間・心・生命を保障するという理念を掲示し、住み慣れた地域でその人らしい暮らしを実現する理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内の見やすい所に掲示され、毎月の全体会議、日々のミーティング、申し送りなどで確認しながらその実現に全員で取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時に地域の人々への挨拶や声掛けを行い、近隣の保育園の七夕まつりや敬老会での園児との交流、中学生の福祉体験受け入れなど地域とのつきあいは活発に行われているが地域自治会への参加には至っていない。	○	併設施設が多いこともあるが地域の一員として自治会活動に参加し、地元との交流・協力関係を築いていく取り組みが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価受審後、毎月の全体会議にて全職員で話し合い、災害対策の地域との協力関係作りを除き、改善に取り組んでいる。自己評価表を全職員に配布し内容の共有化を図り、管理者が取りまとめ、日々のケア改善に向けた取り組みを行っている。	○	更なる取り組みとして自己評価を職員各自の課題・ホーム全体の課題として捕らえ、職員のレベルアップの為の研修や、ホーム課題の改善に向けた目標設定に繋げることを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度定期的開催されホームの状況報告や行事予定、ホーム課題などの話し合いが持たれ、利用者の帰宅願望への対応策としてホーム入り口近くにバス停を設置するアイデアが実現するなどの取り組みが行われている。	○	今後は地域自治会への参加やより多くの家族や利用者の参加を促すなど地域との協力関係、家族との信頼関係作りを強化する取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市によるグループホーム連絡会などの参加やいろいろな報告、利用者・事業所としての相談などを通して関係作りを行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月発行している「きたうえぐるーぷほーむ便り」でホーム全体の様子や行事等の報告に加え、利用者個々の様子を担当職員が書き添えて家族の許に送付している。年に1度ホームイベントを兼ねた家族会も開かれて家族と職員、また家族同志の交流も行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に意見や苦情を受ける窓口が明記され、苦情委員会も設けられている。面会時や電話連絡、運営推進会議などで家族の意見・要望を聞き毎月の会議などで検討・対応を行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が安心して暮らせるよう職員の異動や離職は極力抑えるようにしているが、やむを得ずそうなった場合は他の職員で協力し合い利用者に影響が出ないように十分留意している。新しい職員には一人ひとりの対応を覚えてもらい職員が代わることによる利用者へのダメージを抑えるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の研修委員会で知識・技術向上や資格取得のための研修会が企画され、外部研修を含め計画的に職員研修が行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	三島市のグループホーム連絡協議会に参加し、近隣のグループホームとの相互交流や課題などを話し合いサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前には家族と面談し自宅訪問を行い、利用者・家族のホーム見学やお茶の機会を設けたりして少しずつホームに馴染む機会を作っている。併設のデイサービスやショートステイを利用しながら入居する利用者もいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、利用者と一緒に時間を過ごしながらかけてもらおう場面の工夫や声かけに配慮している。棚から物を取るときに利用者の手伝いを得るなどの関係も作られている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日常の会話や表情を見ながら希望や意向の把握に努める中で、特に散歩や二人だけの会話時には思いが掴み易く、そんな機会をなるべく多く持つように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のモニタリングやカンファレンスで本人の望みや必要な支援について話し合い、意向や生活歴、家族の要望などを取り入れ担当介護員や家族などと話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎の見直しや毎月のモニタリングを基本に更新時や利用者の状態の変化等により本人や家族、担当介護員と話し合い現状に即した支援内容の見直し計画を作成するよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本施設には同敷地内に特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・ホームヘルプサービスなどが併設されており、医療に関しては嘱託医・看護師から、栄養については管理栄養士からの助言を受けられ、利用者同士の交流もあり柔軟な支援を行なっている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の承諾により、かかりつけ医または嘱託医による医療を受けられるよう支援している。管理者は看護師の資格を持ち、嘱託医の定期巡回など適切な医療支援の体制が整えられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居当初に終末ケアの説明と終末に関する意識調査票を提示し、終末ケアを希望される方には終末ケア申出書を提出頂き、嘱託医と連携し最善の支援が出来るような取り組みを行なっている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一同、利用者は人生の先輩として尊厳を持ち、プライドを傷つけることのないような言葉掛けや対応に努めている。また職務上知り得た情報の漏洩が無いよう指導している。個人情報書類等は事務所で適切に管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な当日の流れは決められているがその流れに無理強いすることなく、本人の希望を伺ったり表情で判断して本人の希望やペースを優先して支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜作り、収穫、片付け、おやつ作りなど職員と一緒にやっている。また、職員と利用者が同じテーブルを囲んで会話をしながら楽しく食事できるよう雰囲気作りも大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回以上の入浴を基本に月・木組と火・金組を建前として、入浴日に入れなかった時は他の日に入れるよう柔軟に対処している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の会話や生活暦から、絵・カラオケ・紙工作など気に入るものを楽しんで時を過ごせるよう支援している。居間の壁面には絵や折り紙・習字などの作品が飾られていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	緑と木々の多い環境でホーム周辺にも花畑があり花を眺めながらのんびり散歩する姿が見受けられた。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵の弊害は全職員が理解しているが、玄関の外が急坂で車の出入りが激しく、玄関は日中も施錠されていた。	○	鍵の施錠は利用者の閉塞感や、近隣住民・家族には自由な行き来にも影響する為、職員間の見守りやアイデアを出し合い玄関を開放するチャレンジに期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は毎月シミュレーションを変えて行っており、同敷地内の施設との合同訓練も年1回開催している。	○	同施設内の協力体制は構築されているが、非常災害や夜間災害などでは地域との協力体制が求められることから運営推進会議などを通して地域との協力関係作りが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスやカロリー摂取量などは法人内の管理栄養士に相談されており、食事・水分摂取量も記録保存され個々の利用者に合わせて調理方法も工夫するなど良く管理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフローアーには季節の花が飾られ、全居室は外回りに配置され、明かりの差し込む窓から緑を眺める事ができる。居間・食堂も大きな窓と天窓もあり、全体が明るく仕切りも無く開放的で居心地良く過ごせる工夫に富んでいた。		
30	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は備え付けの戸棚で整然と整理され、使い慣れた馴染みの品々もあり居心地良く過ごせそうな工夫がされていた。全居室入り口には災害時に備えた避難時の救助援護度を表す飾りや懐中電灯が設置され、災害時の避難を想定した対策が工夫されていた。		